

西光

第181号 お十夜号
令和元年11月4日発行

浄土宗西山禅林寺派
雲龍山 西光寺 住職 大塚靈閑

〒671-0101 姫路市大塩町229番地
TEL:079-254-0351 FAX:079-254-4142



お十夜法要

11月23日（土・祝） 13:00～

13:00～13:30 お十夜のお勤め

14:00～15:00 お説教

説教師：山口市 ちょうじゅじ 長寿寺住職

なかむら しゅうほう
中村州芳師

※お説教の前後に塔婆回向をいたします。

塔婆回向の供養料は1霊300円です。お申込みされる方の戒名
(分からない場合は俗名でも可)をメモしてきて下さい。

サクスの演奏
もあります！

お十夜名物の豆ご飯も
ご用意をしております。

霊閑だより

お釈迦様はホリエモン

ホリエモン（堀江貴文氏）は死なないそうです。死んでいる暇がないそうです。意外なことに、ホリエモンは予防医療などの健康系の書籍をいくつか出しています。

死ということを含めてそもそも彼は未来のことを考えるのが嫌いなようです。ライブドアの社長時代にも業績予想や事業構想について問われると「そんな先の予想なんかできるわけねえよ」って適当に提出してたら粉飾決算だとか言われて…そんな未来のことを考えるのが嫌いなホリエモンは夢を持つということも否定します。やりたいことはすぐにやる。いつかやりたいなんて未来のことを考えていたら、人間必ずリスクのことばかり考えて前に進めなくなるからと。納得です。反論の余地はありません。

そんな時、お釈迦様が弟子たちにお話しになった「一夜賢者の偈」というものを思い出しました。

過ぎ去れるを追うことなかれ。
いまだ来たらざるを念うことなかれ。

過去、それはすでに捨てられたり。
未来、それはまだ到らざるなり。

されば、ただ現在するところのものを、

そのところにおいてよく観察すべし。

揺らぐことなく、動ずることなく、

そを見きわめ、そを實踐すべし。

ただ今日まさに作すべきことを熱心になせ。

たれか明日死のあることを知らんや。

まことに、かの死の大軍と、

遭わずというは、あることなし。

よくかくのごとく見きわめたるものは、

心をこめ、昼夜おこたることなく実践せん。

かくのごときを、一夜賢者といひ、

また、心しずまれる者とはいひなり。

ホリエモンという我々は新しいタイプの人間だと思いがちですが、お釈迦さまも既に二千五百年も前から言っていたことだったので。お釈迦様はホリエモンだったのです。お釈迦さまも新しいタイプの人間だったのです。新しいことをやりだしたり、言い出したりすると必ずアンチが出てきます。お釈迦さまもその昔はバラモン教などインドの既存の宗教から反発を受けました。しかし廃れるこ

となく、二五〇〇年後の今、こうして私たちが仏教に出会えているというのは、奇跡です。仏教は超ロングセラー商品なのです。

先日スマホを見ていたら「あなたの大切な人との残された時間を計算してみましよう」というサイトが目にとまりました。興味津々に、大切な人を仮に「子供」と設定し、いろんな項目を入力して、「計算する」というボタンを押してみました。すると子供と過ごすことのできる時間は、残りなんと百六十六日だということです。寝ている時間や仕事などで子供と会わない時間、将来独り立ちした後の時間などを引いていくと、あと四、五十年生きたとしても、一緒に過ごせる時間はそんなわずかしかないというのです。愕然としました。もし設定を「親」にすればもっと減るでしょう。

江戸時代の禅僧正受老人いわく、

一大事とは、今日ただいまのことなり

残された時間は多くはありません。

坊主の戯言

十月三十一日はハロウィンでした。坊主がいきなりなんだといわれそうですが、子供が保育園で「サツマイモでパンプリン作った」と言っているのを聞いて、「あ、今日だったのか」と思った次第です。

昔から続く行事というのは、だいたいのものが宗教色を帯びています。キリスト教の行事といえばクリスマスやバレンタインをはじめ、通年行事ではないですが結婚式も教会であげる人が多いでしょう。ちなみにハロウィンは古代ケルトの祭りのようで、キリスト教とは無関係なんだそうです、恥ずかしながら最近知りました。まだ知名度は低いもののイースター（復活祭）というものも控えております。

ちなみに神道関連でもここ播州では秋祭りが盛んですし、初詣、七五三、お宮参りなど皆が馴染みのあるものが割と多く存在します。

では、仏教といえば、彼岸やお盆は誰でも知っています。しかし特に若い世代には我、関せずのような行事です。シー



ズンが来たからといって特に盛り上がることはありません。イベントとして定着するには、バレンタイン⇨チョコ、ハロウィン⇨カボチャや仮装、クリスマス⇨ケーキやプレゼント、イースター⇨卵といった分かりやすい構図がやはり必要なのでしよう。また子供から大人まで幅広く訴求できるかも重要です。仏教行事で「○○といえば○○」のようなものはありません。そもそも仏教では、どの行事も死や先祖供養の色合いが強いため、「彼岸だぜ、イエーイ！」と盛り上がるようなものではありません。ワクワク感があり、皆で楽しめるものという点ではとことん相性の悪さを感じます。



その中で個人的に唯一可能性を感じるのは、お釈迦様の誕生日（四月八日、この辺りは月遅れの五月八日）のはなまつりというイベントです。お釈迦さまが誕生された時に、竜が産湯代わりに甘露の雨を天より降らし祝福したとされ、はなまつりではそれにちなんでお釈迦様に甘

茶をかけて誕生を祝います。「甘いお茶」という子供や女性にも受けがよさそうなネタがあるのに人気はイマイチです。甘茶をスイーツまで拡大解釈しても構いませんから、せめて仏教ゆかりの行事を一つでも定番行事に食い込ませたいところです。しかし時期の悪さもありません。二月のバレンタイン、三月のホワイトデーときて、さらに一か月後の四月八日にプレゼントとなると正直しんどいです。それに入学・入社・新学期シーズンで、世間では「桜だ！花見だ！イエーイ！」という状況です。そんな時に、「今日はお釈迦様の誕生日だよ。甘茶です、よかつたらどうぞ」なんて言ったら「あなた、なんか変な宗教やってるの？」と疑われかねません。

国民的行事となるにはまだまだハードルが高そうです。

※補足

かつてこの辺りでは、特に行事がなく、季節の良いこの五月八日付近の時期に「おびきようか（卯月八日が訛ったもの）」という行楽を兼ねて、書写山や法華山へ皆お参りに出かけたようです。



気になる…



お釈迦様は人間？

阿弥陀仏は？ 一体誰？

仏教はインドで生まれ、大きく二つに分かれました。東南アジアの方に伝わっていった仏教（上座部仏教）と中国に伝わっていった仏教（大乘仏教）です。お経が漢字で書いてあることから分かるように、日本の仏教はこの中国ルートの仏教です。

上座部仏教では、基本的にお釈迦様を釈迦牟尼仏として信仰の対象としますが、日本にも伝わった大乘仏教では実にたくさんの仏や菩薩という修行中の人々が登場します。皆様も観音さん、お地藏さん、お薬師さんなどたくさんのお仏や菩薩さんをご存じかと思えます。浄土宗で一番大切にされる仏さま（ご本尊）の阿弥陀仏もその内の一つです。

お釈迦様はお経を読んだことがない？



まずお釈迦様というのは私たちと同じ人間です。二千五百年前のインドのお方で仏教の開祖です。

そしてそのお釈迦様の説かれた教えがお経というものです。お経はお釈迦様の没後、弟子たちがお釈迦様から聞いた貴重なお話しを後世に残さねばと集まって編纂したものですので、当然お釈迦様は木魚をポクポクしながら読経などしていません。

なぜこんなにいろんな宗派があるの？

鎌倉時代に比叡山という総合大学で学ばれた方々が、私は仏教についていろいろ勉強したけれど、その中でもやっぱり一番は南無阿弥陀仏（お念仏）だというのが法然（浄土宗）や親鸞（浄土真宗）、いやいや南無妙法蓮華経（お題目）でしようというのが日蓮（日蓮宗）、いやいや禅の教えでしょうというのが栄西（臨済宗）や道元（曹

洞宗）といった具合にそれぞれ単科大学として個別に〇〇宗という宗派をたてたのが今に至っています。

同じ宗派の中でもさらに細かく〇〇派と分かれているのは、自民党竹下派、石破派などの派閥みたいなものです。同じお経を採用していても、例えば南無阿弥陀仏ということばをどう解釈するかで相違がおき分かれてしまうのです。例が適切かどうか分かりませんが憲法九条をどう解釈するかというようなことでしょうか。

お経は膨大な数存在しますが、お経によって登場する仏さまや描かれる世界が違います。宗派によって読むお経が異なりますので、当然ご本尊も違ってきます。

浄土宗はなぜ阿弥陀仏？

浄土宗を開かれた法然さんは三つのお経を採用しました。西光寺は浄土宗ですから、法事でもこの三つのお経を読みます。そしてこの三つはすべて阿弥陀仏のことが書いてあります。では、なぜたくさんのお仏や菩薩の中から

阿弥陀仏が描かれているお経を選んだのでしょうか。それは阿弥陀仏がいかなる人であろうと誰一人見捨てることはないと言われたからです。どんな患者も受け入れ、とことん付き合ってくれるお医者様なのです。

そしてその三つのお経には、阿弥陀仏という仏さまはね、こんな風に私たちのことを思ってくれてるんだよ、阿弥陀仏の世界はこんな素敵なお所だよということを描かれています。そして、それをお話しになっているのが、お釈迦様なのです。

送り出すお釈迦様と迎える阿弥陀仏

お釈迦様と阿弥陀仏の関係性は左



西光寺所有の二河白道図

進んでいきなさい」と送り出してきています。そして向こうの極楽世界からは阿弥陀仏が「安心してこちらへ来なさい」と迎えてきています。「送り出すお釈迦様」と「迎える阿弥陀仏」という関係性です。少し難しい言葉でいえば

の「二河白道図」に分かりやすく描かれています。荒々しく波しぶきをあげる水の河と激しく燃え盛る火の河の真ん中に一本の白い道があります。手前のこちら側の岸（此岸）は私たちの住む世界です。そして白い道の向こう側（彼岸）が阿弥陀仏の極楽世界です。この足幅ほどしかない白い道を一人の人間が通っています。むさぼりの心、つまり欲（水の河）と怒り（火の河）で心乱れ、揺れ動く私たちがまさにこの白い道の途中にいる人間なのです。道から落ちればそこは火か水の河です。かといって引き返せば、そこには剣や弓矢をもった盗賊や猛獣が待ち構えています。そこでお釈迦様はこちらの世界から「安心してその道を進んでいきなさい」と送り出してきています。そして向こうの極楽世界からは阿弥陀仏が「安心してこちらへ来なさい」と迎えてきています。少し難しい言葉でいえば

「発遣の釈迦」（この世界を出発させ極楽世界へと遣わす）と「来迎の阿弥陀」（あちらの世界から迎えに来る）です。お葬式はまさにこの構図です。お経というお釈迦様が説かれた教えにのっとり、こちらの世界から故人を送り出し、あちらの世界から阿弥陀仏に迎えに来てもらうのです。そんな阿弥陀仏という仏さまを私たちはご本尊とし、日々拝んでいるのです。



門前掲示板より

十月

他人は誰でも心の中に他人には言えぬ痛みを持っている
憂いや悲しみが無いのではない
他人に語らぬだけなのだ

十一月

しあわせを
そう思わない
ふしあわせ



お十夜のお誘い

この度のお十夜のお説教師さんは山口市の長寿寺住職の中村州芳師です。お説教では初めてお越し頂きます。三年前の秋のお彼岸には当時住職でありましたお父様にお説教にお越し頂きました。

西光寺は親戚や師弟関係の非常に少ない寺ですが、長寿寺は数少ない親戚関係にあるお寺です。互いの祖母が姉妹という関係です。

中村師はサククス奏者でもあり、この度のお説教の中でもその演奏をお聴かせ頂ける予定です。どうぞお誘い合わせてお参り下さい。

永観堂のもみじ



令和二年度

年忌表



来年は左記の年にお亡くなりになられた方の年忌法要（法事）があたりてきます。特に土・日曜日の午前中をご希望の方は早めにご連絡頂ければ幸いです。年忌があたっておられる方には別紙にてご案内しておりますが、念のため、左記の年忌表をご覧になってご確認下さい。

| | |
|-------|---------|
| 一周忌 | 平成三十一年没 |
| 一回忌 | 令和元年没 |
| 七回忌 | 平成三十年没 |
| 十三回忌 | 平成二十六年没 |
| 十七回忌 | 平成二十年没 |
| 二十五回忌 | 平成十六年没 |
| 三十三回忌 | 平成八年没 |
| 五十回忌 | 昭和六十三年没 |
| | 昭和四十六年没 |

寺子屋



【今後の予定】

十二月十八日（水） 一月十五日（水）
 二月七日（金） 三月十三日（金）
 いずれの日も午後一時半～午後三時

逝去の報



慎んでお悔み申し上げます。生前の温顔を偲びつつ、お十念を捧げます。

神戸 大谷年子さん

九月二十日没（八十五歳）

西浜 生嶋かよ子さん

十月三日没（七十二歳）

中ノ丁 松永進さん

十月七日没（七十七歳）

除夜の鐘



大晦日の除夜の鐘は例年通り、午後十一時四十分頃より始めます。本堂では新年のお勤めを行っています。あわせてお参り下さい。年末年始、どうぞ健やかにお過ごしください。来年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。